

1988年

12月号

No.396

大洲新聞

おおす

市民のうごき

昭和63年10月31日現在

人口	39,937人	(+39)
男	19,083人	(+22)
女	20,854人	(+17)
世帯数	12,901世帯	(+16)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和63年12月1日発行 発行 大洲市役所 編集 市長公室 〒795 大洲市大洲690-1 ☎24-2111



私の楽しみ ⑪ 人形劇サークルヘソ太郎

人形劇

『子供たちに、夢と希望と感動を』『地域に児童文化を残そう』をモットーに、人形劇サークルヘソ太郎の皆さんは、年間十数回に及ぶ公演を行っています。

ヘソ太郎は、昭和五十二年四月に結成され、現在の会員数は十人、二十三歳から三十三歳までの、子供たちと楽しい時間を過ごすのが大好きな若者たちの集まりです。現在は、大洲市、喜多郡内の保育所や子供会などを中心に公演を行っており、一回の公演で一時間半から二時間くらいだそうです。

人形の制作、保存から公演まで全て独力でっており、公演は一切無料。公演の依頼を受けると、棒使い人形や腕人形などの様々な人形を手に、日曜・祭日を利用して向いて行きます。

今、一番の問題は、ここ二、三年、新入会員のいないこと。子供の好きなあなた、一度活動に参加してみてはいかがでしょう。

今月号の主な内容

- 国営農地完工式……………2P
- 修学旅行生が体験学習……………3P
- 市民運動会……………4～5P
- 大洲藩の研究資料を寄贈……………7P
- 総合体育館待望のオープン……………7P
- 市役所の年末年始……………9P
- 奥さん訪問……………10P

地域農業づくりの 基盤が完成

—国営農地開発事業完工式—

計画から二十年、昭和五十一年の着工以来、十三年の歳月と、二百十六億円の経費をかけて、大洲市、内子町、五十崎町、河辺村の中山間地に、五百六ヘクタールを開拓した国営農地開発事業が、本年十二月で完成します。

これに先立ち、十月十九日、同事業の記念碑除幕式と、完工式が行われました。



▲記念碑除幕式

この事業の対象となった地域は、愛媛県全体と比較すると、農家率、農業所得額ともに上回っており、農業の地位が非常に高い地域です。しかしながら、三方を四国山脈に囲まれ、その大部分が中山間地帯に属する傾斜地であるため、農家の経営面積は〇・六ヘクタールと零細で、労働生産性も低く、農業にとつて恵まれた地域とはいえませんでした。

このため、中山間地帯の開発可能な部分を対象に農地を造成し、農業用雑用水の整備と、付帯する既耕地の区画整理を併せて行うことにより、農業経営規模の拡大と、生産性の高い主産地形成を図るために、今回の事業が実施されました。

この事業により造成された農地は五百六ヘクタール、団地数は六十五に及び、このうち大洲市については、二十九団地、三百一ヘクタールの開拓が成されました。

完工式に先立って、大洲市の喜多山団地で行われた記念碑除幕式



▲神南山より喜多山団地周辺を望む

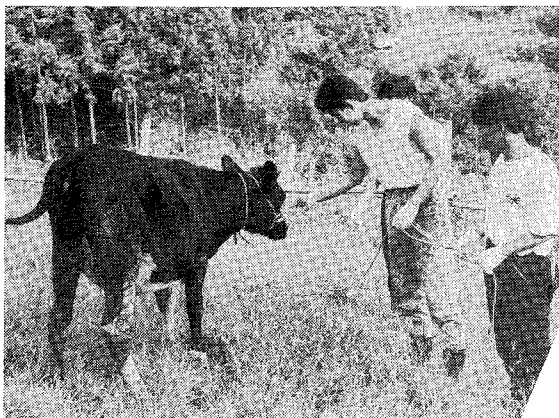
には、関係者六十人が出席。小泉恵二中国四国農政局長、伊賀貞雪愛媛県知事、近田宣秋大洲喜多土地改良区連合理事長ら五人の手で、「農」の一字が刻まれた本碑の除幕が行われました。

この本碑は、高さ三・八メートル、幅四メートル、奥行き一メートルの青石で、刻まれた「農」の字は、佐藤農林水産大臣の筆によるものです。

場所を移して行われた中国四国農政局主催の完工式には、関係者三百五十人が出席。小泉局長のあいさつに続き、伊賀知事が、

「農業は国の基。この農地を立派に活用し、現在の難局を突破する営農を期待します」との祝辞を、また、檜垣徳太郎参議院議員も「この事業の完成を次代の農業への踏み台とし、現在の難局を乗り越えてください」との祝辞を述べました。

これに対し、近田理事長が、「この事業の完成により、地域農業づくりの基盤ができました。今後は、この農地を有効に利用し、農業の発展に努め、関係者への謝意を示したいと思います」と謝辞を述べました。



▲生田高校の体験学習

▼柿生西高校



農業って大変だあ

修学旅行生が体験学習

修学旅行生の大洲訪問も、恒例のことになってきましたが、今年も、十月に、神奈川県から二つの高校の修学旅行生が大洲市を訪れ、農業などの体験学習を行いました。

神奈川県立生田高校

十月一日に大洲入りした、生田高校の生徒五十七人は、二日朝、臥龍山荘の見学や、富士山からの市街地展望を楽しんだあと、農業、王子谷焼、竹材加工の三班に分かれて体験学習を行いました。農業の班は、三、四人の小グループに分かれて、市内の十三農家に分宿しました。畜産を始め、

野菜、水稲、果樹など、それぞれの農家で農業を体験した生徒たちは、「農業って大変ですね」「今夜はよく眠れそうです」などの感想を述べていました。

神奈川県立柿生西高校

十月七日には、柿生西高校の修学旅行生百二十人が大洲市を訪れ、酪農や養蚕、稲刈りなどに汗を流しました。このうち、喜多山の山本弥寿彦さん方を訪れた二十二人の生徒たちは、稲刈りに挑戦。全員稲刈りは初めてとあって、作業はなかなか前進せず、悪戦苦闘。カエルや虫の出現に、悲鳴をあげて逃げ出す女生徒もいて、田んぼは大さわぎ。それでも、約二時間ほどで約五アールの稲刈りを終えました。

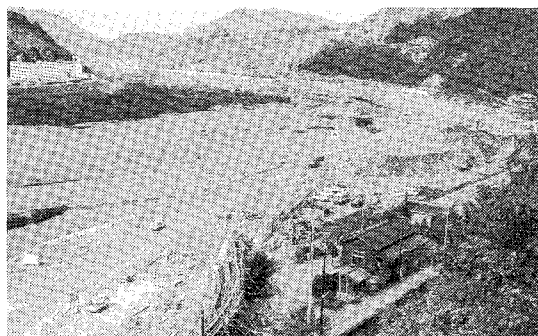
住みよい街づくりを目指し

土地区画整理組合が発足

十月十三日、肱北公民館で、五郎駅前地区の整備を図る「大洲市五郎駅前土地区画整理組合」（近藤正清理事長）が発足しました。

五郎駅前地区は、JR四国予讃本線五郎駅を中心として、おおむね市街化されている地区ですが、

肱川と予讃本線にはさまれた細長い地形であるのに加え、低地であるために、洪水時には常に浸水被害を受けていました。このため、早急な河川改修が望まれていましたが、



▶整備が進む五郎駅前地区

従来の築堤方式により改修工事が実施されると、同地区がくぼ地となるばかりでなく、防衛すべき人家、農地の多くが買収対象となり、地域社会の崩壊を招くという問題点を抱えていました。

そこで、建設省大洲工事事務所では、河川工事にあわせて昭和六十年創設の特定河岸地水害対策事業を全国で初めて適用し、くぼ地となる部分に盛土して土地・家屋をかさ上げし、生活環境の保全を図ることにしました。

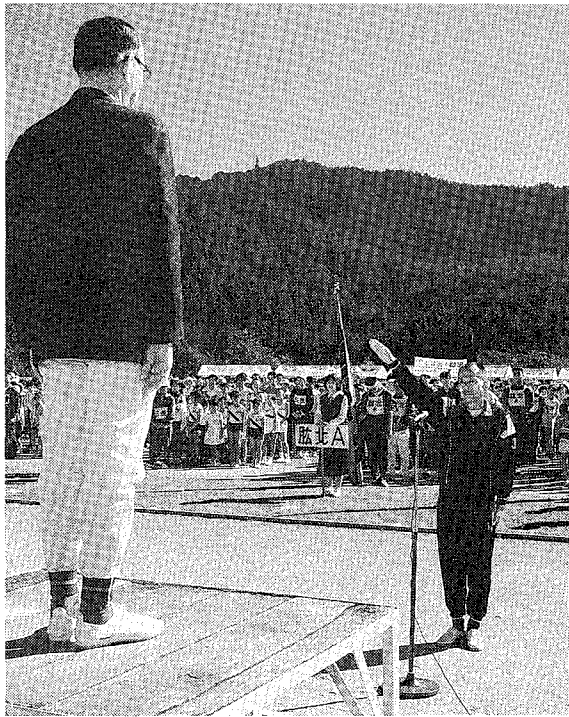
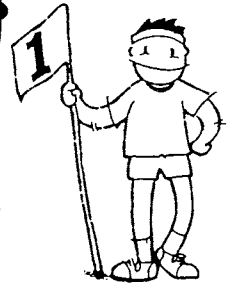
これに伴い、これらの事業に合わせて、道路、水路、公園などの公共施設を整備改善し、宅地の利用増進と、健全な市街地の造成を図ることを目的として、同土地区画整理組合が設立されたものです。組合が昭和六十三年度から六十五年間で実施する予定の土地区画整理事業は、総事業費六千六百十二万円。地区面積一・三ヘクタールの土地を整備し、地権者は、早ければ昭和六十四年四月から順次、家の建設に取り掛かる予定です。



八多喜が初優勝

—柳沢6連覇ならず—

市民運動会



▲選手宣誓

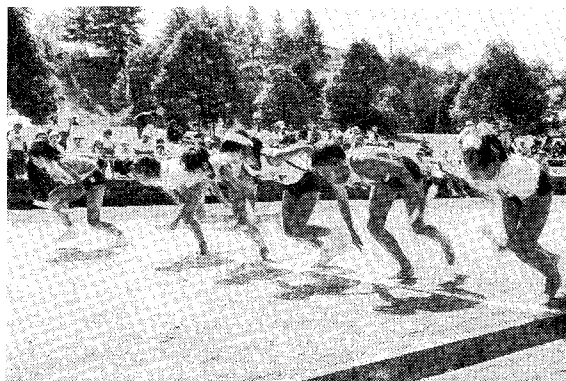
十月十日の体育の日、抜けるような青空の下で、市民運動会が開催されました。今年、舞台を喜多小学校から平野の総合運動公園に移し、広々とした競技場一杯に、汗と笑顔と声援が飛びかいました。

昭和63年度市民運動会地区別得点集計表

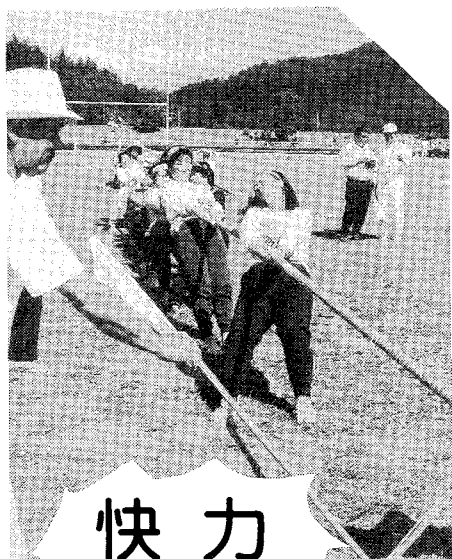
▼表彰式



順位	種目 地区名	玉 入 れ	ポ テ ト レ ー ス	つ な ひ き	ボ ー ル 送 り	和 気 あ い あ い	ナ イ ス キ ャ ッ チ ボ ー ル	糸 巻 き 競 走	メ ジ シ ン ボ ー ル	年 齢 別 リ レ ー		得 点 合 計	昨 年 度 順 位	備 考
										男	女			
1	八多喜	10	12	7	12	7	11	11	9	3	12	94	2	優勝
2	新谷	8	9	11	8	11	12	3	7	12	7	88	5	準優勝
3	柳沢	12	11	7	9	1	10	5	11	5	3	74	1	
4	三善	7	10	4	7	5	8	12	12	4	2	71	3	
5	肱北A	2	6	4	10	9	9	9	1	11	9	70	9	努力賞
6	平野	1	5	10	5	8	7	7	6	10	8	67	4	
7	菅田	6	4	4	6	10	5	8	10	6	5	64	6	
8	肱南	9	1	4	11	2	6	6	3	8	11	61	12	
9	上須戒	11	8	4	3	12	4	4	4	2	1	53	10	
10	南久米	4	7	7	4	3	2	1	8	7	10	53	8	
11	大川	3	2	12	2	6	1	10	2	1	6	45	11	
12	肱北B	5	3	4	1	4	3	2	5	9	4	40	7	



快
走

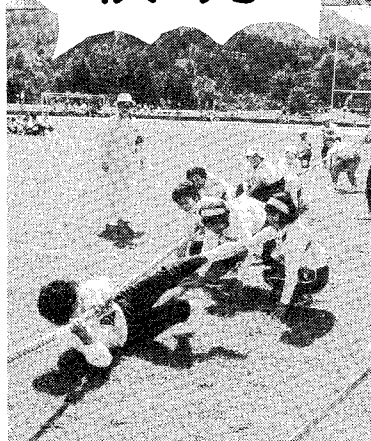


快 力



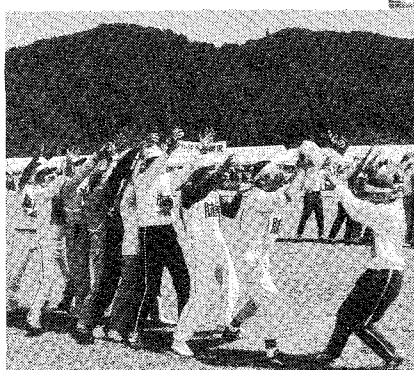
おつかれ
さまでした

快
汗



やられたあー、ずで〜ん

▼それ行けっ！



▲うまく入ってよ〜



無事故で楽しい 年 末 年 始 を



年末の交通事故防止

- ⑤ 飲酒運転は絶対にしない
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ③ 交差点では必ず安全を確認する

ドライバーやライダーの皆さんは、次の『安全五則』をもう一度思い起こし、確実に守りましょう。

- ① 安全速度を必ず守る
- ② カーブの手前でスピードを落とす

ドライバーの皆さんへ

十月末日現在、大洲市内では、二百六件の交通事故が発生しており、昨年同期に比べると、十一件増加しています。ドライバーはもとより、歩行者も『思いやり』と『ゆとり』をもって、交通安全に注意してください。

十二月は忘年会などが相次ぎ、ついついお酒を飲み過ぎてしまいます。『ちよつと酔いがさめたから』とハンドルを握り、思わぬ事故にあつてケースも少なくありません。また、年末年始を控えて、どうしてもオーバーワークとなり、疲労とストレスがたまる時期でもあります。

年末年始を無事故で楽しく過ごせるよう、安全運転で心のシートベルトをしっかり締めましょう。

歩行者の皆さんへ

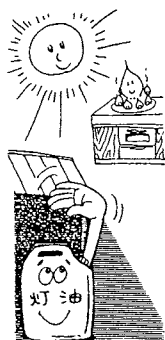
年末は何かと忙しくなりますが、次のような点に注意して、『ゆとり』をもって通行しましょう。

- 道路を横断する時は、横断歩道などの安全な場所を選んで横断する
- 交差点では、左右の安全を十分確かめてから渡る
- 自動車の直前直後の横断はしない
- 路地や物陰などからの急な飛び出しは絶対やめる

10月末までの 大洲市内の交通事故

	10月末現在	昨年同期
件 数	206	195
負 傷 者	253	247
死 者	3	3

火事にご用心！



寒さも一段と厳しくなってきましたが、暖房器具の手入れなど、本格的な冬の到来に対する備えは万全でしょうか。

この季節に活躍するストーブやコンロの燃料として、よく使われているものの一つに灯油があります。灯油も大変便利である反面、取り扱いを誤ると、火災を引き起こす危険性を持っています。

昭和六十二年中には、全国で、ストーブが原因の火災が千六百九十五件発生しており、大洲市内でも総出火件数三十件のうち、五件がストーブによるものでした。これらの火災の原因は、危険物の基本的な性質に対する認識不足や慣れからくる油断によるものがほとんどです。

- ◆ 灯油は危険物 — 灯油は、正しい取り扱いに心がけましょう。
- ◆ 極めて引火しやすい — ペンジンやマニキュアは、通常マッチなどの小さな火でも簡単に引火し、灯油や天ぷら油も、それぞれ一定の温度に加熱されれば、同様な危険性があります。
- ◆ 蒸気は空気より重い — 灯油などの蒸気は空気より重く、床面や低所に滞留することから、溝などを流れ、思わぬ所の火気で引火し、火災を引き起こすことがあります。
- ◆ 一般に水に溶けず、水より軽い — 灯油などは、水に溶けず水より軽いという性質のため、水に浮いて広がります。このため、火災時の水消火は、火面を広げるだけで、かえって消火を困難にさせる場合があります。

火災予防に関する相談は、大洲消防署まで。

☎ 24 2665

大洲藩の研究資料を市に寄贈

東京在住の桜井久次郎さん

今回、大洲市に貴重な研究資料を寄贈したのは、東京都練馬区関町在住の桜井久次郎さん八十四歳。桜井さんは、東京生まれですが、昭和六年に知人の招きで松山農学校に赴任することになり、以後、大洲高等女学校教諭、大洲高校教頭、南宇和高校長などを歴任しました。昭和四十年に教壇を降り、その後、県立図書館長や県文化財保護審議会会長などを務め、勲四等瑞宝章、県教育文化賞を受けています。

寄贈を受けた文献は、ダンボール箱二箱分、約百二十つづりにも及びます。これらの資料は、桜井

さんが昭和十六年に大洲高等女学校に赴任した頃から、昭和五十三年に愛媛を離れるまでの間、心血を注いで書きつづったものです。

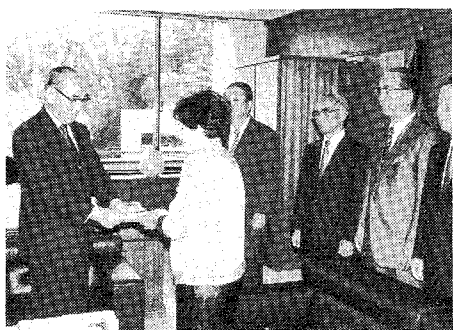
桜井さんは、これらの資料を書物として出す計画でしたが、帰京した昭和五十三年に病気で倒れ、現在も入院中。出版を断念するに至りました。そのため、今春、上京した教え子の篠崎和子さん「大洲市本町」に、「資料を大洲市に寄贈し、研究資料として活用してもらえれば……」との意志を告げ、その後上京した中川一生大洲史談会会長、長谷厚大洲市立博物館長と具体的な話をまとめました。

寄贈式は、十月二十五日、大洲市長室で行われ、篠崎さんから近田市長に目録が手渡されました。贈られた資料の中には、「大洲・



桜井久次郎さん

寄贈式の様子



新谷藩政編年史」三十一冊の外、大洲に幽閉された韓国の儒学者・姜沆に関する「姜沆大津幽囚中之記」なども含まれており、市では桜井文庫として保存し、郷土史の研究に活用していく予定です。

桜井さんは、昭和四十七年に新聞紙上に掲載された「しき石一つ」という随想の中で、こう述べています。

「昭和三十二年に出版した『大洲秘録論考』のはしがきに『烟霧の裡に模索するもまた愉しといわれるが、乏しい資料（わが手にすることの乏しき謂）を千金の財として辿る道は、昏（く）れてなお遠しの感が一層深まるばかりである」と記したが、それから十五年、さびしいことながら、今もつてこの感懷は少しも変わるところはない。今日このごろも、しき石を一つずつ並べながら、私は、なおはてしない道のかたを追いつづけているのである。

いつの日か 道成らむかも
ここに置く
しき石一つ かそけかりけり」

総合体育館

12.4.

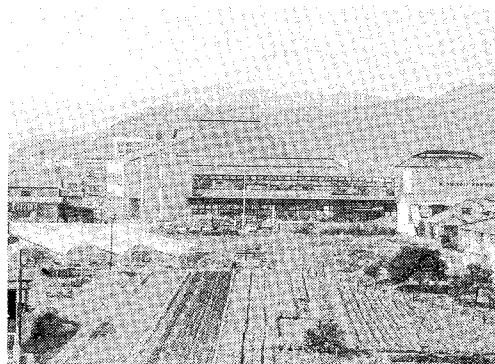
待望のオープン

さした新しい時代の要請に十分応える施設、設備を備え、全国的規模の競技大会も可能な総合体育施設です。
市民のみなさんの心と体の健康づくり、体力づくりに、気軽に利用してください。

開館時間 午前九時～午後十時
休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）及び、十二月二十九日～翌年一月三日

使用料 使用料は、使用許可を受けたとき前納してください。（一度納付されると、原則として返金できません）

※なお、使用料は、使用目的や時間帯などに応じて細かく分けられています。申し込み方法など詳しくは、教育委員会社会教育体育課（☎242111内388）、十二月四日以降は、体育館事務局まで（☎246255）



斎藤 清 版画展

12月10日～来年
1月27日

“模様の街”など約30点

博物館だより

大洲市立博物館では、十二月十日から来年一月二十七日にかけて、斎藤清版画展を開催します。
斎藤さんは、明治四十年福島県会津下坂の生れで、昭和二十六年のサンパウロ国際美術展での受賞など、日本を代表する国際的版画家の一人です。
今回の展示には、大洲市志保町の白壁をモチーフにした“模様の街”など約三十点を予定しています。ぜひ一度、ご来観ください。

—第40回— 人権週間

12月4日～10日

—世界人権宣言40周年—



毎年、十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。
人権週間は、国民一人ひとりが“人権”というものを再認識し、また、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省してみる週間でもあります。
私たちが豊かな日常生活を営むためには、お互いの立場を尊重し、

自分の権利ばかりを主張することのないよう心がけなければなりません。

今年の人権週間では「国際化にふさわしい人権意識を育てよう」「いじめ、体罰の根を絶とう」「部落差別をなくそう」「女性の地位を高めよう」「障害者の完全参加と平等を実現しよう」の五項目を強調事項としています。

差別、いやがらせ、家庭問題、近所とのめんど、子供らのいじめ、体罰の問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員か、法務局または、その支局へ相談してください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

世界人権宣言四十周年

「世界人権宣言」は、人権尊重の考えを世界中に広げようと、昭和二十三年十二月十日に、国連で採択されました。これは、二度にわたる世界大戦の反省から、世界の平和のためには、国際的な人権保障が不可欠であるとしてつくられたもので、今年で四十周年を迎えます。そして、「世界人権宣言」が採択された日を、国連は「人権デー」と定め、日本では、十二月四日から十日までの一週間を「人権週間」としたものです。

「住宅金融公庫」・「年金住宅融資」

第三回の受付を開始

住宅金融公庫

○申込受付期限

昭和六十二年十二月九日

○融資限度額

構造、住宅の床面積などにより異なります。(例：個人住宅で木造の場合、四百万円～八百九十万円など)

○基準金利

当初十年間年四・五五%、十一年目以降年五・二%

※その他詳しくは、住宅金融公庫四国支店(☎0878-250511)まで

年金住宅融資

○利用できる方

現在厚生年金保険の加入者で、加入期間が三年以上ある方(国民年金期間通算可)

○融資金額

所要資金の八十%以内で、最高千六百二十万円まで

○融資利率 年四・九%(一般)

○受付期限

昭和六十四年一月四日

※詳しくは、愛媛県年金福祉協会(☎0899-47667)まで

募集!
『私のまち』
写真コンテスト

ち」②古き、よき「私のまち」
③いきいき「まちかど」

○写真サイズ

白黒、カラープリントで、サード、組写真を除く。

○応募方法など

建設省では、左記の要領で「私のまち」写真コンテストを行うことになりました。ふるってご参加ください。

○テーマ

①私の好きな「まちなみ」、「み

作品の裏に題名、撮影場所などを記入の上、(社)日本交通計画協会内同コンテスト事務局(〒113 東京都文京区本郷二の十七の十三広和レジデンス)まで。十二月三十一日の消印まで有効。

※なお、詳しくは市役所都市整備課まで ☎2421111内365

市役所の

年末年始

大洲市役所では、年末年始の業務を次のように行います。
年末は、窓口が混雑しますから、ご用のある方は、早目におこしください。

市役所本庁

12月28日(水) ご用納め(正午まで)

12月29日(木)

1月3日(火) 休みます

1月4日(水) ご用始め

※市民課

12月28日(水) 8時30分から
12月29日(木) 16時30分まで

12月30日(金) 印鑑証明発行事務のみ行います。
1月4日(水) 出生、死亡などの届け出は、宿日直者が受け付けます。

※この間の急用については、宿日直者にご相談ください。ただし、宿日直者では処理できないこともありますので、ご了承ください。

市立大洲病院 ☎2151

12月28日(水) 診療します

12月29日(木)

1月1日(日) 休診します

1月2日(月)

1月3日(火) 救急患者のみ診療します

成人式(第四十一回)のご案内

日時 一月十五日

午前九時から

場所 大洲市役所

対象者には、十二月中旬に案内状(葉書)を送付しますが、もしもれていない人がありましたら、教育委員会まで申し出てください。

転出している人でも、十二月二十五日までに、各公民館へ申し込めば、成人式に参加できます。

詳しくは、教育委員会社会教育体育課まで。

☎2111内線389



1月4日(水) 診療します
「ゴミ収集・し尿くみ取り」
12月31日(土) まで収集します
1月1日(日)

1月3日(火) 休みます

1月4日(水) 収集します

※不燃物については、一月二、三日(第一月・火)収集分を一月九、十日(第二月・火)にふりかえて収集します。休みの間、ゴミを出したままにしないでください。

し尿のくみ取り

12月31日(土)

1月4日(水) 休みます

※年末は、とても混雑しますのでお申し込みは、12月20日までにお願いします。



No.120

「人権意識の高揚を目指して」

地域対策改善事業の結果、対象地域の生活環境などが改善され、教育文化水準も相当向上し、市民の理解や認識もかなり深まってきました。しかしながら、部落差別につながるような誤ったものの見方や考え方がまだ残っており、その上対象地域内外の人々の意識に、こたわり合う人間関係もあって、ふとした事がきっかけで対象地域の人々の人権を侵害するような差別落書や差別文書事件が後を断ちません。

更に今日高齢者に対する疎外意識や学校における陰湿ないじめ問題など、人間関係がともすればひずみがちになり、新たな人権侵害も見られるようです。こうした問題は、自分の都合で人の立場を認めない生き方をしている場合に起こりやすく、心を開いて共に生きる努力が欠けていると言えるのではないのでしょうか。

今日発生するさまざまな人権侵害をなくしみんなが幸せに生きていくためには、私達一人ひとりが人権意識を高めていくことが最も必要です。そのためには、あらゆる差別にかかわる事実を正しく理解

「人権と同和教育」

し、人権尊重の精神に根ざした正しい価値観を身につけ、自立した生き方ができるように努力することです。また社会全体に人権尊重の風潮を高め、温かい心豊かな人間関係づくりに努めていくことが大切です。

特に家庭は社会生活の基盤であり、基本的生活習慣や正しい価値観の養われる場です。故に家庭で人権意識を高めるためには、まず偏見を教えたり伝えたりしないことです。そして家族の一人ひとりが日頃から人権を尊重する正しいものの見方や考え方を身につける努力を重ねることです。特に最近の家庭は夫婦や親子の心の交流が損なわれることも多いのではないのでしょうか。それだけに家族が力を合わせて物事に取り組み、心を通わせる機会をつくるよう常に心掛けて欲しいものです。

こうした努力から家庭内に、ほのぼのとした雰囲気生まれ、家族相互の信頼感やいたわりの気持ちが湧いてきます。そして、家族のきずなが強まり、人を大切にする心が育つ中から、人権意識が高まっていくのではないのでしょうか。



奥さん訪問

No.89

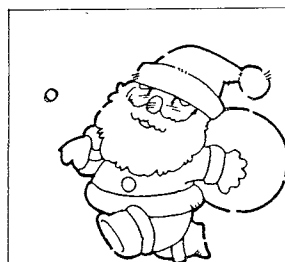
冬は暖かくてしのぎやすいですね

本元 はるみさん（阿蔵・29歳）

▼出身は鳥取県の東伯町です。二十世紀なしゃや長いなどの農作物で有名な所です。
▼就職先の岡山市内の会社で主人と知り合い、結婚と同時に大洲へやって来ました。
▼大洲には、花火やうかいをはじめ、年間を通して祭りや行事がたくさんあるので、東伯よりもにぎ

やかな気がします。
▼私も、あの朝霧には悩まされた口で、最初は天候がわかりにくくて困りました。
▼東伯は冬の寒さも厳しく、雪もけっこう積もるんですが、それに比べると、大洲の冬は暖かくてしのぎやすいですね。
▼大洲に来て一番においしいなっと思っしたのは、いもたきのおいもとかじかです。それに、たち魚という魚は大洲へ来て初めて口にしたんです。主人が釣り好きなの

で、よく釣って来てくれるんですけど、形に似合わずおいしいですね。
▼鳥取と大洲の方言とはやや似ているようにも思いますが、女の子のことを「ビーイ」と呼ぶのには驚かされました。
▼娘（真裕子ちゃん「二才」）には素直で思いやりのある優しい子になってもらいたいと思っています。



市民の広場

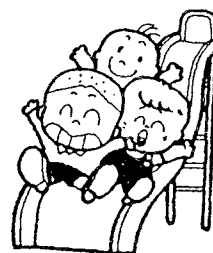
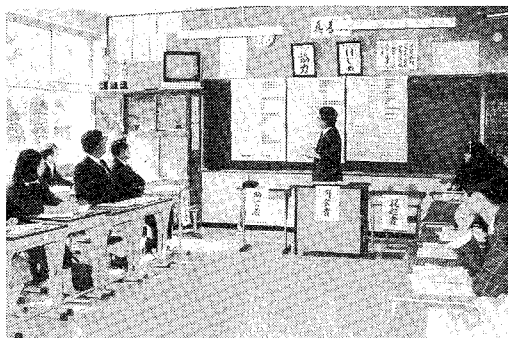
子育てよう心ゆたかな大洲の子

昭和六十三年大洲市PTA研究大会

「会員一人ひとりが学ぶ心をもち、自らを高め、信頼と連帯のきずなを強めながら、二十一世紀に生きる児童生徒の健全育成に努めよう。」と、十月三十日、大洲北中学校で、昭和六十三年大洲市PTA研究大会が開かれました。大会には、大洲市PTA連合会の会員ら二百七十人が参加。開会式では、主催者を代表して井関和彦大洲市PTA連合会長が、「二十一世紀を担う児童の健全育成の基本は、家庭教育にあります。『けじめ』と『物事』に耐える力の育成に重点を置き、親自身が子の手本

となり、『わが子の教育は、わが手で』との自覚の基に頑張りましょう。」とあいさつ。開会式の終了と同時に分科会に移りました。

①生涯教育を推進するPTA活動②児童生徒の健全育成をはかるPTA活動③人間尊重の精神を育てるPTA活動④親と教師と子供のふれあうPTC活動⑤家庭づくり・子育てと父親の五分科会で、それぞれ、アンケート調査の結果や、記録ビデオなどを利用して、活発な意見を交換していました。



新刊図書案内

全国寺院名鑑四巻全 日本仏教会
現代日本外交史 国際資料協会
戦乱の日本史十二巻 第一法規
日本分県地図地名総覧 人文社
習って覚えて真似して捨てる

おれの話を中心して聞け勝夢酔著
古代の日本と韓国 一・二 井上秀雄・他著

吉田松陰の生涯 吉川寅二郎著
ニユースの読み方 秋元秀雄著
昭和の歩み―日本経済新聞社
日本のきのこ 山と溪谷社

我が出合い 大山康晴著
邦画傑作劇場 石沢英太郎著
「文芸春秋」にみるスポーツ昭和史 一 文芸春秋社

現代日米表現辞典 三枝幸夫編
生きる飲び 田村隆一著
器に非ず 清水一行著

ファーストレディ 遠藤周作著
鳴門血風記 白石一郎著
たそがれ清兵衛 藤沢周平著

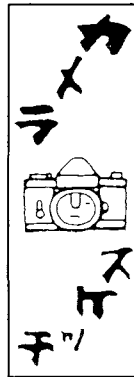
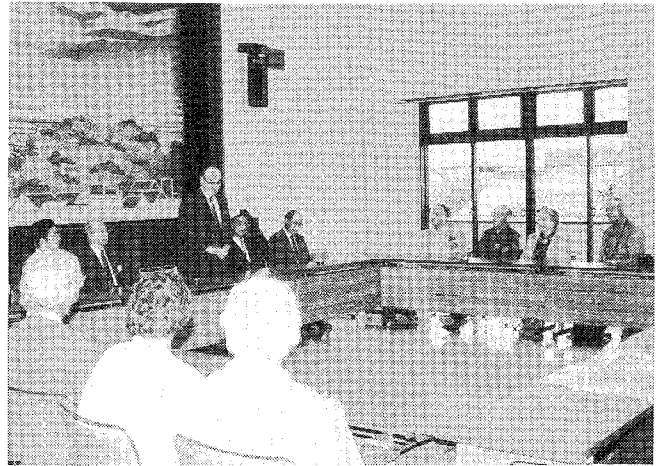
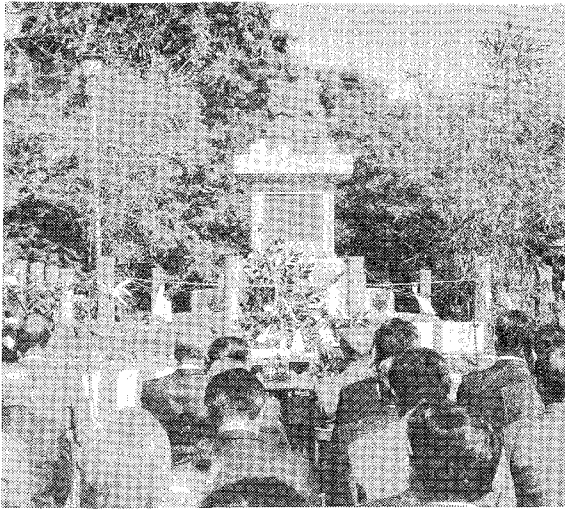
近江商人魂上・下 竜門冬二著
さよなら海の女たち 椎名 誠著
黒い空 松本清張著

いつもの絵日記 神山恭昭著
わが回想のルパン島 小野田寛郎著

二〇六一年宇宙の旅 クラーク著
蒼ざめた王たち パーカー著

藤樹まつり記念式典

郷土の誇り中江藤樹の遺徳をしのぶ藤樹まつり記念式典が、10月31日、城山公園の藤樹銅像前で開かれました。関係者80人の参加する中、実行委員会の西村広海会長が「哲人藤樹の勉学地としての誇りを持ち、人づくり、町づくりに努めましょう。」とあいさつ。至善流大洲吟詠会の丑尾鳳秀会長による祝吟などで、遺徳をしのびました。



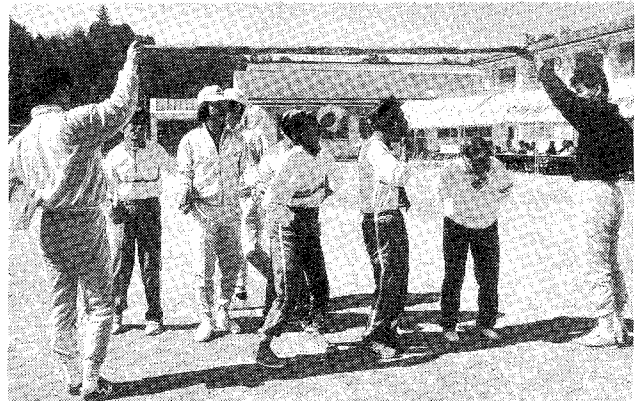
外国人を自然と人情味豊かな大洲の地に招き、人と人との交流を通して国際親善を深めようと、十月十七日、大洲英会話同好会の招きで、民間国際交流団体「ザ・フレンドシップ・フォース」の米アイオア州会員二十五人が大洲市を訪問しました。一行は、大洲市内を見学した後、近田市長を表敬訪問し、夜は市内の十三家庭に分かれてホームステイ。それぞれ親善を深めました。

アメリカからこんにちは

一日保育所長

10月24日、大洲市議会の亀岡利彦議長が新谷保育所の一日本所長を務めました。

亀岡所長は、ゆりぐみの5歳児を相手に、昔の遊びを次々と紹介。亀岡所長お手製の竹馬や、リムころがし、なわを使っの汽車遊びなどで、園児と共に楽しい一時を過ごしました。



障害者スポーツの集い

10月26日、大洲市障害者スポーツの集いが、大洲学園を会場に開催されました。この催しは、障害者の機能の回復と体力増進を図るもので、当日は、市内の福祉施設、傷い軍人会、身障者協議会の会員など430人が参加。青空の下で、15競技にさわやかな汗を流し、親ぼくを深めました。

保健センターだより

☎243775

乳幼児

健康診断



実施日 該当者

12月6日(火) 昭和63年7月生※
12月8日(木) 昭和62年5月生
12月13日(火) 昭和63年4月生※
12月20日(火) 昭和63年1月生※
12月27日(火) 昭和60年11月生※
※は、胎前・胎後地区のみ
受付時間 13時～13時30分
実施場所 大洲市保健センター
持参品 母子健康手帳

健康相談

日時 12月7日と12月21日
9時30分～12時、13時～15時
場所 市役所一階会議室

休日急患診療

休日	急患診療
12月4日(日)	岡部クリニック(片原) ☎244375
12月11日(日)	大洲中央病院(東大洲) ☎244551 安達医院(中町) ☎242535
12月18日(日)	大洲中央病院 ☎244551 城戸眼科(末広町) ☎243008
12月25日(日)	大洲中央病院 ☎244551 鎌田産婦人科(末広町) ☎242753
12月28日(水)	加戸病院(若宮) ☎244551 大洲中央病院 ☎245101
12月29日(水)	大洲中央病院 ☎245101

(木) 12月30日 大洲中央病院 ☎244551

(金) 12月31日 大洲中央病院 ☎244551

(土) 12月31日 大洲中央病院 ☎244551

(日) 1月1日 藤本外科(中町) ☎242310
大洲中央病院 ☎244551

(月) 1月2日 大野内科(片原町) ☎246800
市立大洲病院(鉄砲町) ☎242151

(火) 1月3日 村上外科(片原町) ☎242262
市立大洲病院 ☎242151

(水) 1月4日 市立大洲病院 ☎242151

(木) 1月5日 市立大洲病院 ☎242151

献血のお知らせ

次のように採血車が巡回しますので、ご協力をお願いします。
実施日 12月1日(木)
場所 大洲市役所
時間 9時～12時

相談ごと案内

いずれも無料です。気軽にご利用ください。

▶交通事故相談

とき 12月8日 10時～15時
12月20日

ところ 市役所別館 3階会議室

▶人権相談

とき 12月20日 13時～16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶法律相談

とき 12月5日 13時～16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談

とき 12月1日、12日、26日 13時～16時

ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談

とき 毎日の執務時間中

ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談

とき 12月12日 9時～12時

ところ 市役所1階会議室

急ぐ時は ☎243794 (玉木) まで

▶社会保険相談

とき 12月20日 10時～16時

ところ 大洲商工会議所

担当 松山西社会保険事務所

▶医師・栄養士による健康相談

とき 12月22日 13時～15時

ところ 大洲市保健センター

対象 40歳以上の人

▶何でも相談

とき 毎日の執務時間中

ところ 大洲隣保館 ☎246100

大洲福祉会館 ☎250947

▶不動産無料相談

とき 12月15日 9時～16時

ところ 宅建協会大洲支部

フヂエダ花店2階、常盤町4

歯科相談(大洲保健所)

市立大洲病院 9時30分～12時
(練仙味エキス 13時～14時30分)
JRバス大洲営業所 15時～16時30分
実施日 内容
12月21日(水) 乳幼児歯科相談
受付時間 13時からです。前もって電話連絡をお願いします。
☎243165

まごころの

おくりもの

(敬称略)

金一封 阿蔵 隅田 忠徳
金一封(寄付金) 大洲
N.T.T・大洲電報電話局社員一同(指定配分)
金一封(上須戒老人会と上須戒母子会へ) 若宮 政所 義之
金一封(八多喜公民館へ) 八多喜町 土居 厚子

今月の納税

固定資産税3期

納期は12月26日

金一封(大洲市老人福祉センター・新谷老人クラブ連合会・下新谷長寿会・都地区・善安寺へ)
新谷 山中 誠
金一封(神南荘へ) 田口 石住 安恵
金一封(八多喜公民館へ) 八多喜 城ノ戸 忠
金一封(平野地区社協へ) 平野町 大橋 登
金一封(お見舞返しを柳沢地区社協へ) 柳沢 山崎 善廣
温かい善意をありがとうございます。感謝をこめて掲載させていただきます。

大洲市社会福祉協議会

大洲市教育委員会では、青少年に関する様々な相談にお答えする「青少年相談電話」を開設しています。お気軽にご相談ください。
とき 毎日の執務時間中
ところ 大洲市教育委員会
☎247830